

TORO®

ヒーターキット
液冷 Workman® MD/HD 汎用作業車
 モデル番号07349—シリアル番号 315000001 以上
 モデル番号07349—シリアル番号 316000001 以上
 モデル番号07349—シリアル番号 400000000 以上

取り付け要領**付属部品**

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
ヒーター取り付けアセンブリ	1	
ヒーターアセンブリ	1	
ストレートフィッティング $\frac{3}{8}$ "	1	
Uボルト $\frac{3}{8}$ "	2	
ロックナット $\frac{3}{8}$ "	4	
ホース用チャネル	1	
ヒーターコントロールマウント	1	
ヒーターコントロールパネル	1	
タッピングねじ #12 x $\frac{1}{2}$ "	4	
90° ヒーターホース	1	
ヒーターバルブ	1	
R クランプ	1	
字フィッティング $\frac{5}{8}$ "	1	
ガスケット	1	
キヤップフィッティング $\frac{3}{4}$ "	1	
字フィッティング 1" = 25 mm	1	
アダプタフィッティング	1	
ヒーターコントロールマウント	1	ヒーターキットHDX, HDX-D, HDX-Auto 用を取り付けます。
ホースクランプ $\frac{1}{2}$ "	8	
ホースクランプ $\frac{7}{8}$ "	2	
ホースクランプ $\frac{3}{4}$ "	2	
冷却液ホース $\frac{3}{8}$ x 12"	1	
冷却液ホース $\frac{3}{8}$ x 124"	2	
ヒーターケーブルコントロール 36"	1	
じやばら導管 $\frac{7}{8}$ x 96"	2	
ワイヤハーネス	1	
フランジヘッドボルト 5/16 x $\frac{3}{4}$ "	1	
フランジナット 5/16"	3	
タッピングねじ 5/16 x $\frac{3}{4}$ "	6	
ヒューズブロック	1	
ヒューズ (20 A)	1	
フランジヘッドボルト $\frac{1}{4}$ x $\frac{3}{4}$ "	2	
ロックナット $\frac{1}{4}$ "	2	
フランジヘッドボルト 5/16 x $\frac{3}{4}$ "	2	

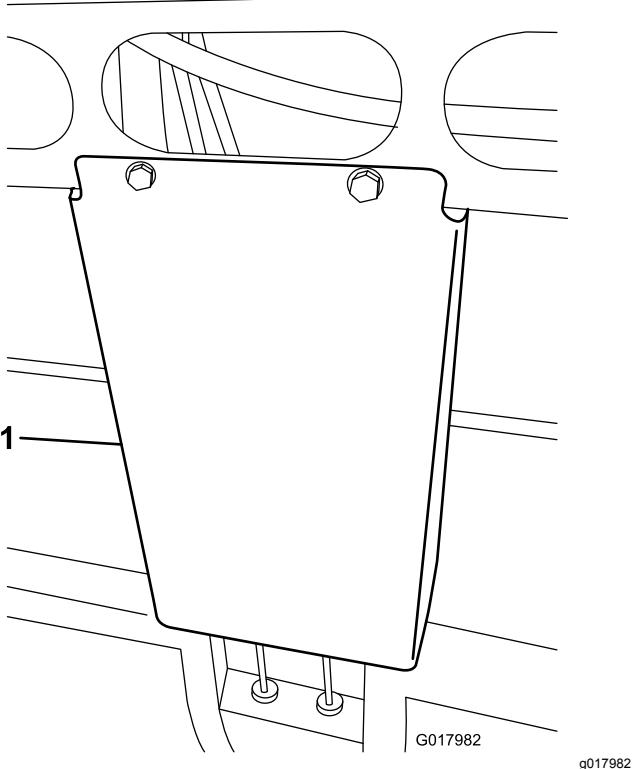


内容	数量	用途
ヒーター取り付けアセンブリ	1	
ヒーターアセンブリ	1	
ストレートフィットティング $\frac{3}{8}$ "	1	
Uボルト $\frac{3}{8}$ "	2	
ロックナット $\frac{3}{8}$ "	4	
ホース用チャネル	1	
ヒーターコントロールマウント	1	
ヒーターコントロールパネル	1	
タッピングねじ #12 x $\frac{1}{2}$ "	4	
90° ヒーターホース	1	
ヒーターバルブ	1	
R クランプ	1	
ガスケット	1	
キャップフィットティング $\frac{3}{4}$ "	1	
字フィットティング 1" = 25 mm	1	
ヒーターコントロールマウント	1	
ホースクランプ $\frac{1}{2}$ "	8	ヒーターキットMDX-D 用を取り付ける。
ホースクランプ $\frac{5}{8}$ "	2	
ホースクランプ $\frac{3}{4}$ "	2	
冷却液ホース $\frac{3}{8}$ " x 12"	1	
冷却液ホース $\frac{5}{8}$ " x 124"	2	
ヒーターケーブルコントロール 36"	1	
じやばら導管 $\frac{7}{8}$ " x 96"	2	
ワイヤハーネス	1	
フランジヘッドボルト 5/16 x $\frac{3}{4}$ "	1	
フランジナット 5/16"	3	
タッピングねじ 5/16 x $\frac{3}{4}$ "	6	
ヒューズブロック	1	
ヒューズ (20 A)	1	
フランジヘッドボルト $\frac{1}{4}$ x $\frac{3}{4}$ "	2	
ロックナット $\frac{1}{4}$ "	2	
フランジヘッドボルト 5/16 x $\frac{3}{4}$ "	2	

HDX, HDX-D, HDX-Auto 用

マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。
4. 荷台を上げて安全バーで支える。
5. バッテリーカバーを外し、プラスケーブルの接続を外す。
6. エンジン冷却液を抜き取るオペレーターズマニュアルを参照。
7. フードを外す；オペレーターズマニュアルを参照。
8. 車両の前中央部の下にある油圧ラインを保護しているシールドカバーを取り外す図 1。



1. 油圧シールド

ヒーターを組み立てる

1. ホースクランプを使って、エルボホースを、ヒーターアセンブリの下にあるフィッティングに取り付ける図 2。

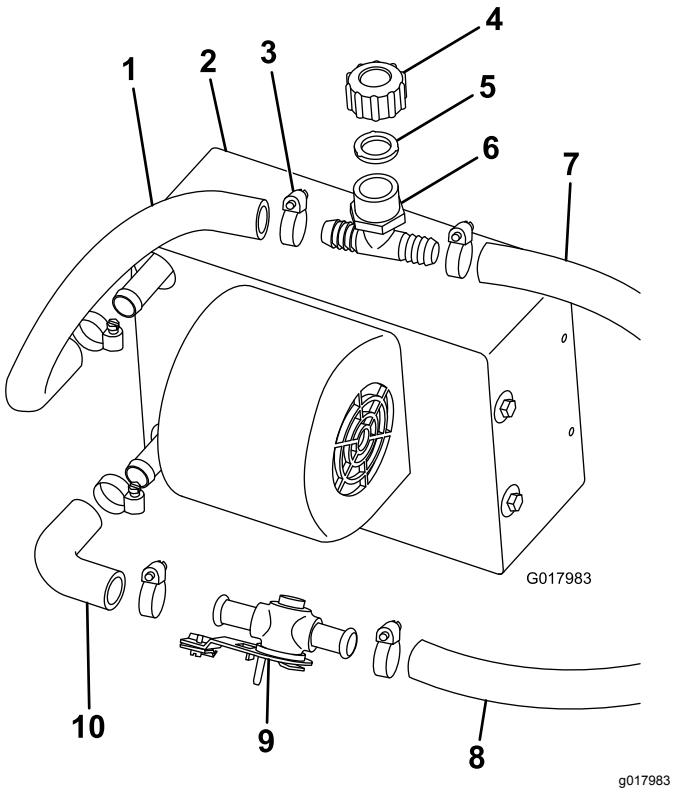
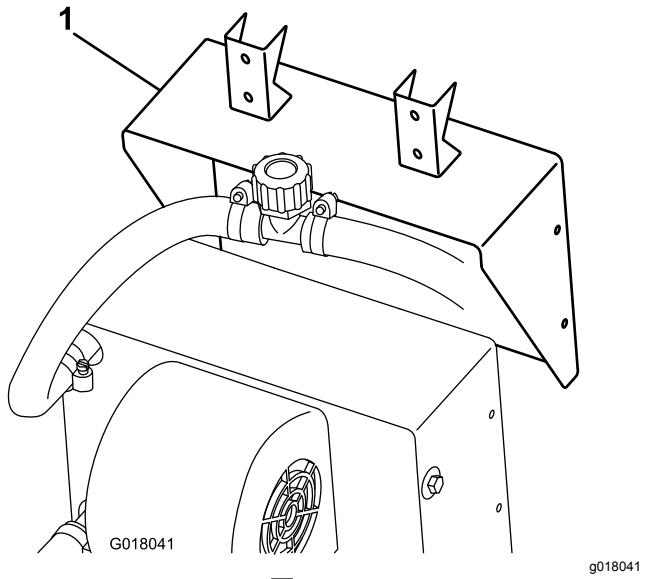


図 2

1. ホース 3 m
2. ヒーター
3. ホースクランプ
4. 補給用字キップ
5. ガスケット
6. 字形補給口白
7. 短いホース
8. 長いホース
9. ヒーターバルブ
10. エルボホース
2. ホースクランプを使って、ヒーターバルブをエルボホースに取り付ける図 2。
3. ホース 5/8" を、31 cm の長さに切断し、それをヒーターアセンブリの上部フィッティングにホースクランプで固定する図 2。
4. ホースクランプを使って、補給口、ガスケット、キップを、上部ヒーター ホースに取り付ける図 2。

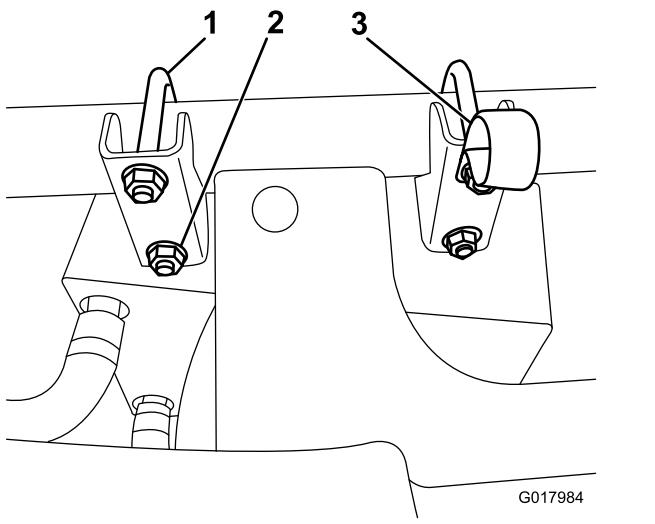
ヒーターとヒーターコントロールを取り付ける

1. ヒーターに付属しているねじを使って、ヒーターブラケットをヒーターに取り付ける図 3。



1. ヒーターブラケット

2. ヒーターとブラケットのアセンブリを、前フレームチューブに取りつけるボルトとフランジナットを使用する図 4。



1. ボルト
2. フランジナット
3. R クランプ

3. 車両の中央に最も近い列の上ナットの下に、R クランプを取り付ける図 4。
4. ヒーターコントロールマウントに、ヒーターコントロールを取り付けるビス 4 本を使用する図 5。

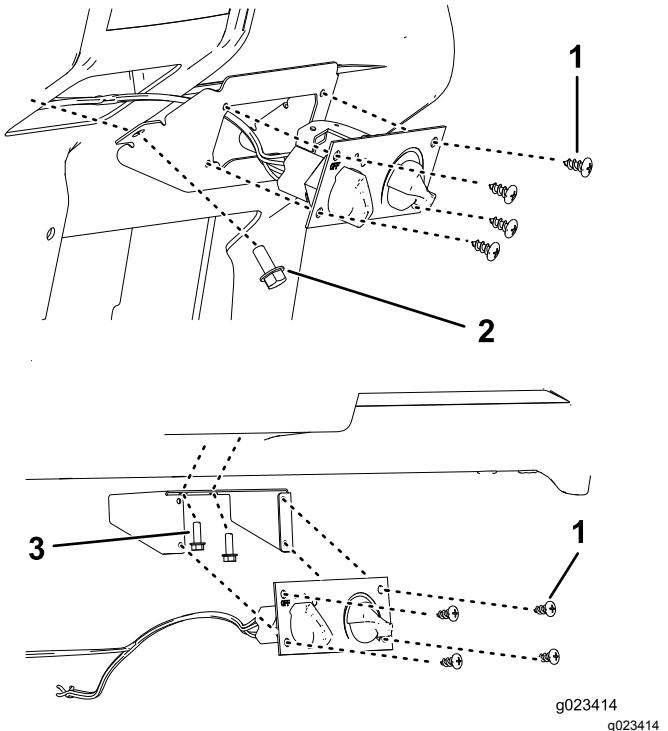


図5

1. タッピングねじ#12 x $\frac{1}{2}$ " 3. フランジヘッドボルト $\frac{1}{4}$ x $\frac{3}{4}$ "
2. フランジヘッドボルト5/16 x $\frac{3}{4}$ "

5. ヒーターコントロールケーブルと黒色のワイヤハーネスコネクタを、ヒーターコントロールとヒーターのワイヤハーネスの白色コネクタに接続する図 5。
6. ダッシュボードの開口部にブラケットを合わせ、穴を開けるべき場所にマーキングをし、ドリルを使って必要な穴を開ける。
7. ヒーターコントロール用マウント正面にフランジヘッドボルト5/16 x $\frac{3}{4}$ " 4本を使い、さらにマウント側面にボルト 5/16" 2本 HD モデルの場合 またはボルト $\frac{1}{4}$ " 2本 MD モデルの場合を使って固定する図 5。
8. ヒーターコントロールケーブルを、ヒーターバルブに接続する図 6。

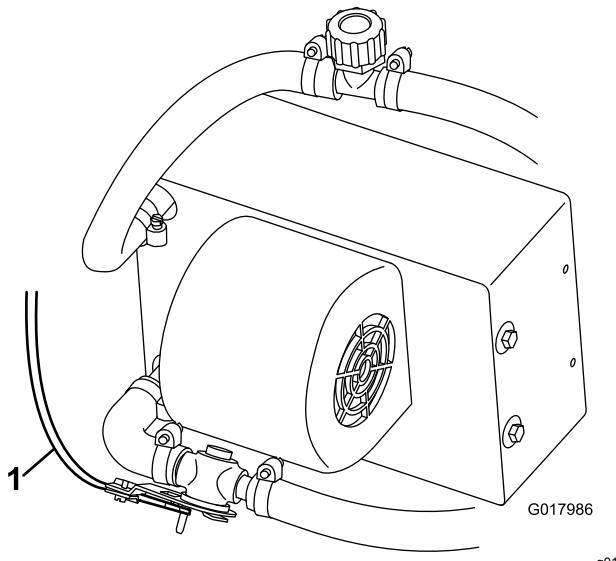


図 6

1. ヒーターコントロールケーブル

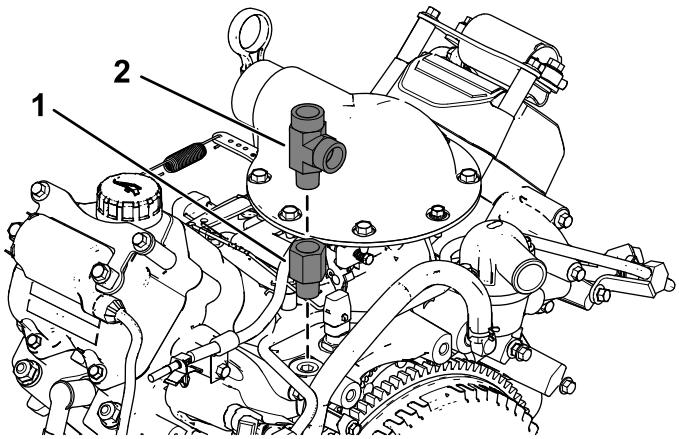


図 8

1. アダプタフィッティング
2. T字フィッティング

3. ホースクランプを使って、温度スイッチとホース $3/8"$ とアダプタフィッティング $5/8"$ を図 9 のように取り付ける。

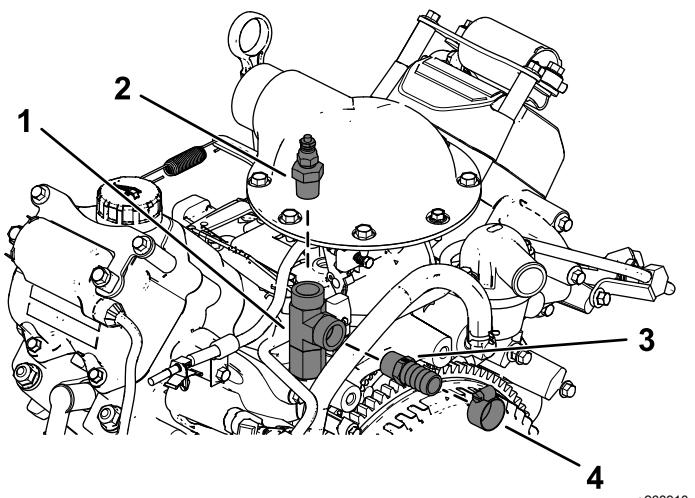


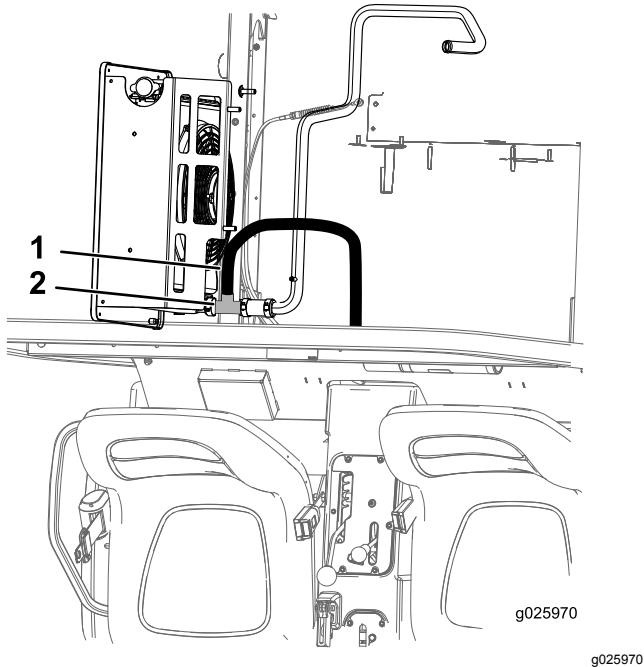
図 9

1. T字フィッティング
2. 温度スイッチ
3. アダプタフィッティング
4. ホースクランプ

4. 下側ラジエター hoses を切断し、この切断した部分に字フィッティングを入れ、幅広のホースクランプ2個で固定する図 10。

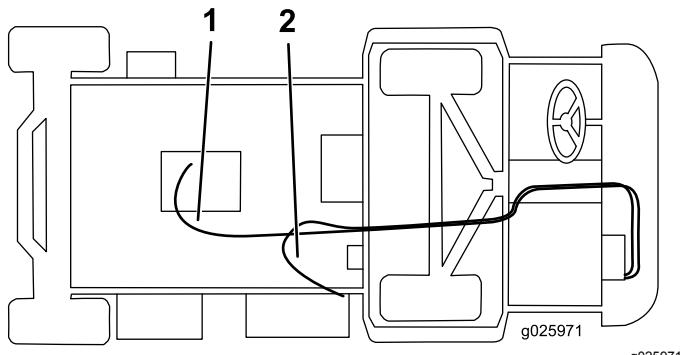
1. 温度スイッチ

2. アダプタと T 字フィッティングを取り付ける図 8。



1. 短いホース 2. 字フィッティング

5. ホース $5/8"$ にじやばらチューブのカバーを取りつける。
6. ホースクランプを使ってヒーターバルブに長いホースを接続し、このホースを車体下部からアクスルの上を通し、ストレートフィッティングまで引き込む図 11。



1. 長いホース 2. 短いホース

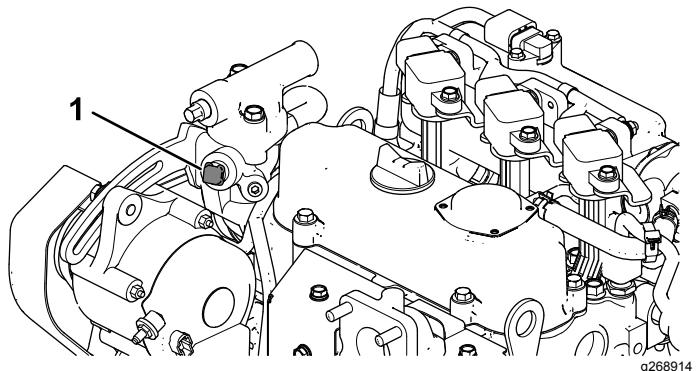
7. ホースクランプを使って、短いホースを補給口へ接続し、このホースをヒーターブラケットの R クランプに通し、下ラジエターホースの字フィッティングにクランプで固定する図 11。

HDX と HDX-D へのホースの取り付け

1. プラグまたは温度スイッチ(エンジンの種類によってどちらか一方を外す)。

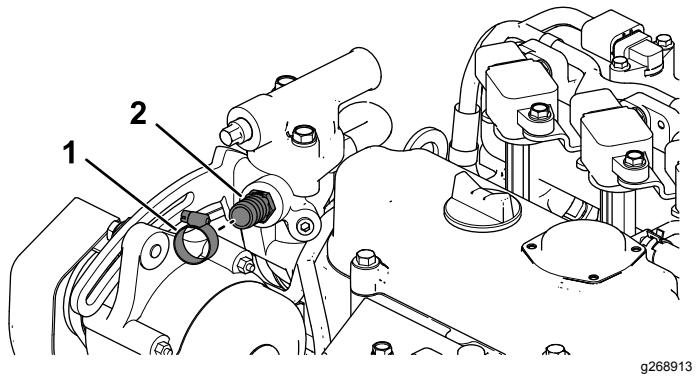
ガソリンエンジンの場合

- A. サーモスタットハウジングのプラグを外す図 12。



1. プラグ

- B. ストレートフィッティング $5/8"$ をホースクランプで取り付ける図 13。



1. ホースクランプ

2. ストレートフィッティング $5/8"$

ディーゼルエンジンの場合

- A. サーモスタットハウジングから温度スイッチを外す図 14。

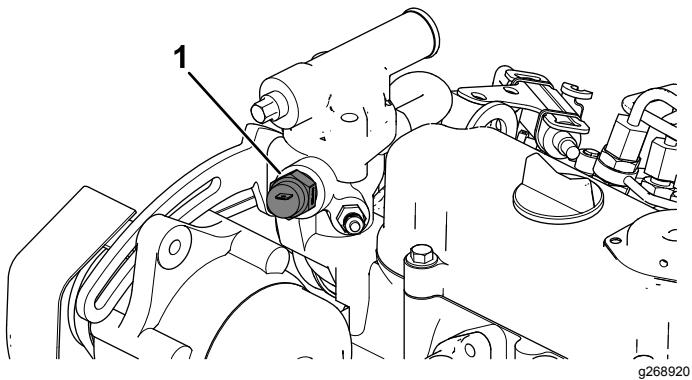


図 14

1. 温度スイッチ

- B. 字フィッティングを取り付ける図 15。
C. 温度スイッチを取り付ける図 15。

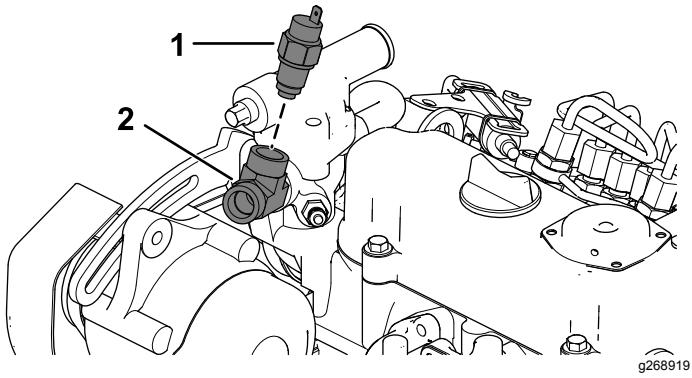


図 15

1. 温度スイッチ

2. T字フィッティング

- D. ホース $\frac{3}{8}$ "とアダプタフィッティング $\frac{5}{8}$ "をホースクランプで取り付ける図 16。

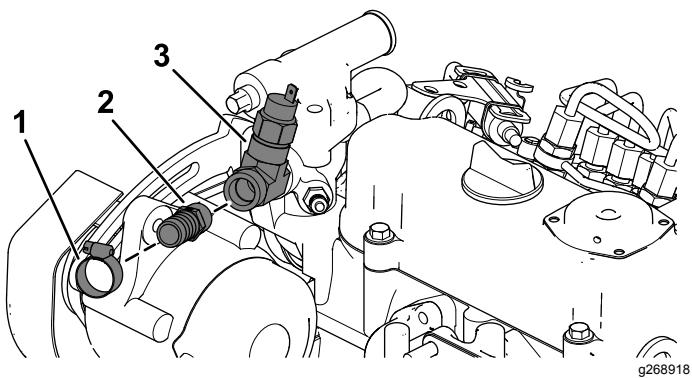


図 16

1. ホースクランプ
2. ストレートフィッティング $\frac{5}{8}$ "
3. 温度スイッチと T 字フィッティング

2. 下側ラジエター hoses を、 90° の曲がりのセンターラインから 89 mm の所で切断する図 17。

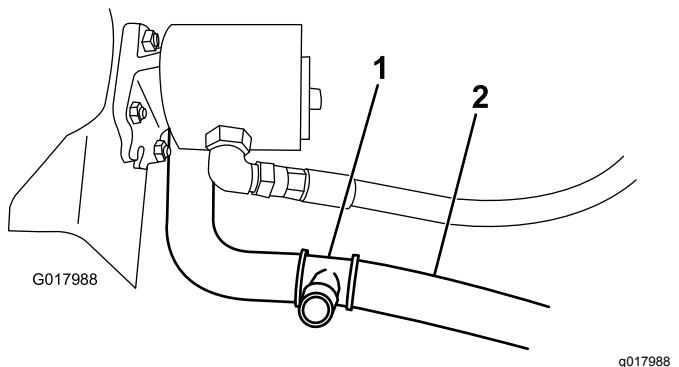


図 17

1. 字フィッティング

2. 下ラジエター ホース

3. 切断した部分に字フィッティングを入れ、幅広のホースクランプ2個で固定する図 17。
4. ホース $\frac{5}{8}$ "にじやばらチューブのカバーを取りつける。
5. ホースクランプを使ってヒーターバルブに長いホースを接続し、このホースを車体下部からアクスルの上を通し、ストレートフィッティングまで引き込む図 18。ホースの長さが余っている場合は切斷する。

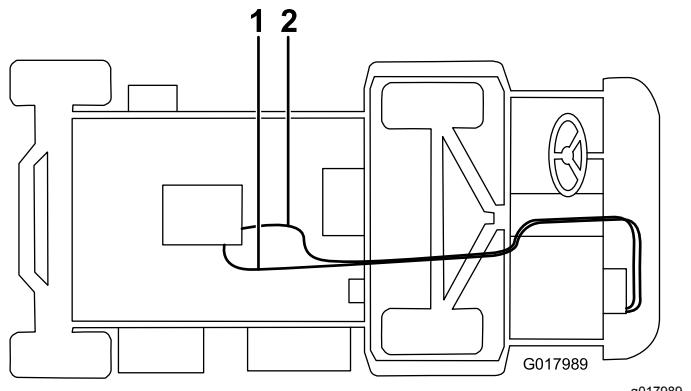


図 18

1. 長いホース

2. 短いホース

6. ホースクランプを使って、短いホースを補給口へ接続し、このホースをヒーター ブラケットの R クランプに通し、下ラジエター ホースの字フィッティングにクランプで固定する図 18。ホースの長さが余っている場合は切斷する。

配線の接続を行う

- ヒーターのワイヤハーネスから出ているピンクのワイヤを、ヒューズブロックの開いているリード線に接続する。
ヒューズスロットに空きがない場合には、新しいヒューズブロックを取り付ける。接続したリード線に対応するスロットにヒューズを取り付ける。
- ヒーターのワイヤハーネスから出ている黒いワイヤをアースブロックに接続する。

取り付けの最終手順と点検

- 各ホースおよびワイヤが鋭利な角や可動部などに触れないように縛って固定する。
- 最初に外した油圧シールドを元通りに取り付ける。バッテリーケーブルとバッテリーカバーを取り付ける。
- ラジエター・キャップを外して冷却液を入れるオペレーターズマニュアルを参照。
- ヒーター・アセンブリの近くにある白いT字補給口のキャップを外し、冷却液を補給する。キャップを取り付ける。フードを取り付ける。
- ラジエター・キャップを取る。
- エンジンを始動し、サーモstattカバーのブリードねじを開き、流れ出す冷却液が泡を含まなくなるまで待つ。
- ブリードねじを閉じる。
- エンジンを停止する。
- ラジエター液を一杯にして、キャップを閉める。
- エンジンを始動し、通常運転温度まで温度を上昇させ、エンジンを停止して温度が外気温まで下がった時点で冷却液の量を再点検し、必要に応じて補給する。

MDX-D 車両の場合

マシンの準備を行う

- 平らな場所に駐車する。
- 駐車ブレーキを掛ける。
- エンジンを止め、キーを抜き取る。
- 荷台を上げ、支持棒で支える。
- バッテリーカバーと、プラスケーブルを外す。
- エンジン冷却液を抜き取るオペレーターズマニュアルを参照。
- フードを開ける。

ヒーターを組み立てる

- ヒーター・アセンブリの下側フィッティングにエルボホースをクランプで取り付ける図 19。

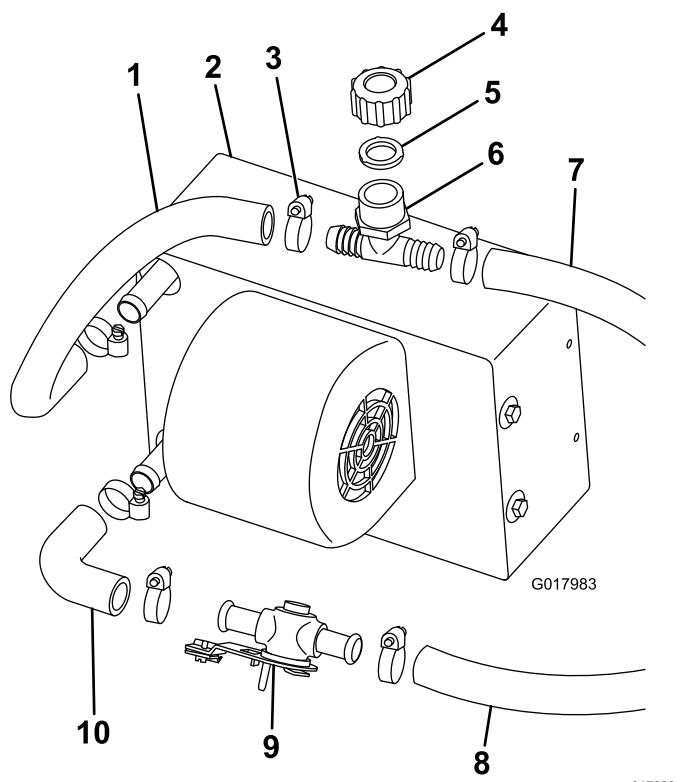


図 19

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. ホース 356 mm | 6. 字形補給口白 |
| 2. ヒーター | 7. 短いホース |
| 3. ホースクランプ | 8. 長いホース |
| 4. 補給用字キャップ | 9. ヒーター・バルブ |
| 5. ガスケット | 10. エルボホース |

- ホースクランプを使って、ヒーター・バルブをエルボホースに取り付ける図 19。
- ホース $\frac{5}{8}$ " = 15 mmを、36 cm の長さに切断し、それをヒーター・アセンブリの上部フィッティングにホースクランプで固定する図 19。

4. ホースクランプを使って、補給口、ガスケット、キャップを、上部ヒーターホースに取り付ける図 19。

ヒーターとヒーターコントロールを取り付ける

1. グローブボックスの左から 216 mm、底から 38 mm の位置に、 $5/16" \times 8$ mm の穴を開ける図 20。

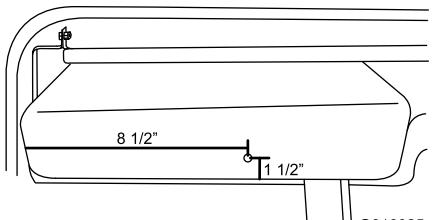


図 20

g018025

2. ヒーターに付属しているねじを使って、ヒーターブラケットをヒーターに取り付ける図 21。

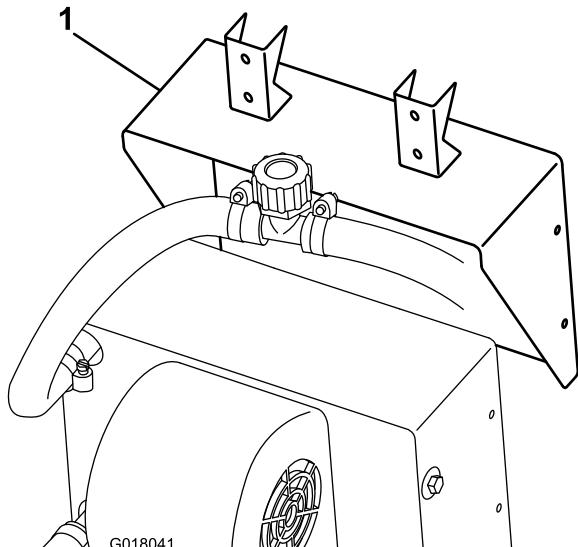


図 21

g018041

1. ヒーターブラケット

3. ヒーターとブラケットのアセンブリを、前フレームチューブに取りつけるボルトとフランジナットキットの付属品を使用し、Uフレームに軽く押し当てる程度に固定する図 22。

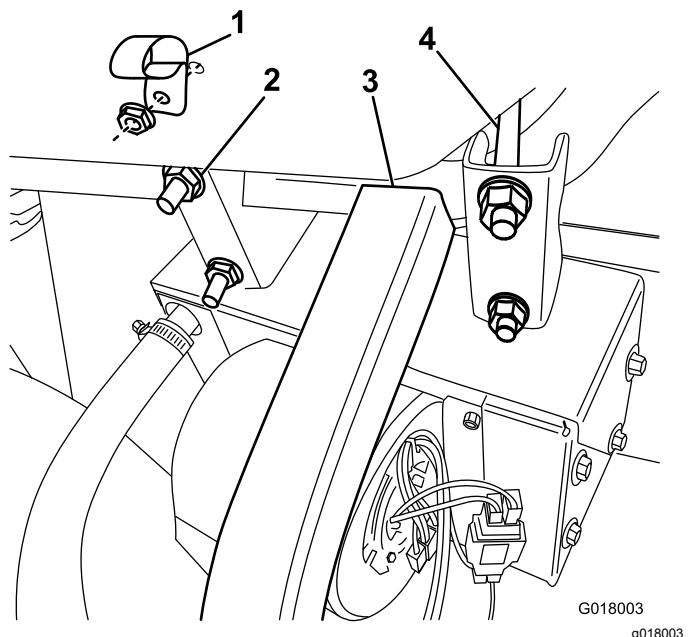


図 22

g018003

g018004

1. R クランプ
2. フランジナット
3. フレーム
4. ボルト

4. グローブボックスに R クランプを取り付けるフランジヘッドボルトとナットを使用する図 22。

5. ヒーターコントロールマウントをダッシュボードカッピホルダーの下に取り付けるフランジヘッドボルト 2 本とナットを使用する図 23。

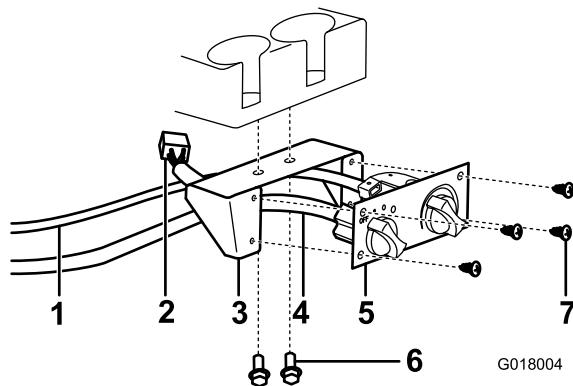


図 23

g018004

g018004

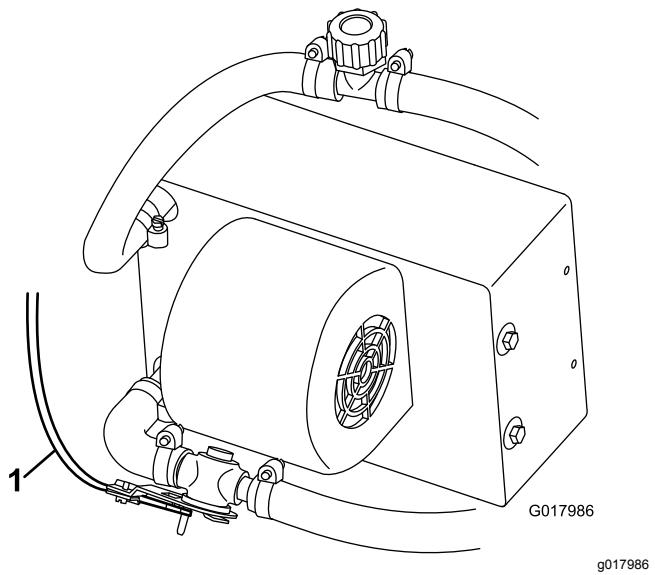
1. ヒーターコントロールケーブル
2. ワイヤハーネスのコネクタ 白

3. ヒーターコントロールマウント
4. ワイヤハーネスのコネクタ 黒

5. ヒーターコントロール
6. フランジヘッドボルト
7. ビス

6. ヒーターコントロールケーブルと黒色のワイヤハーネスコネクタを、ヒーターコントロールとヒーターのワイヤハーネスの白色コネクタに接続する図 23。

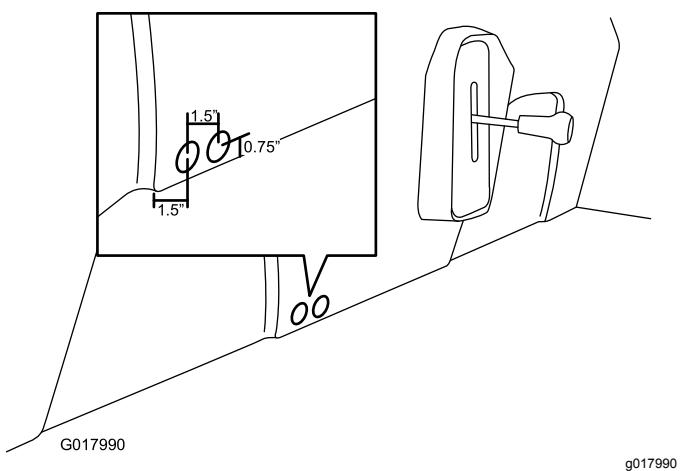
7. ヒーターコントロールマウントに、ヒーターコントロールを取り付けるビス 4 本を使用する図 23。
8. ヒーターコントロールケーブルを、ヒーターバルブに接続する図 24。



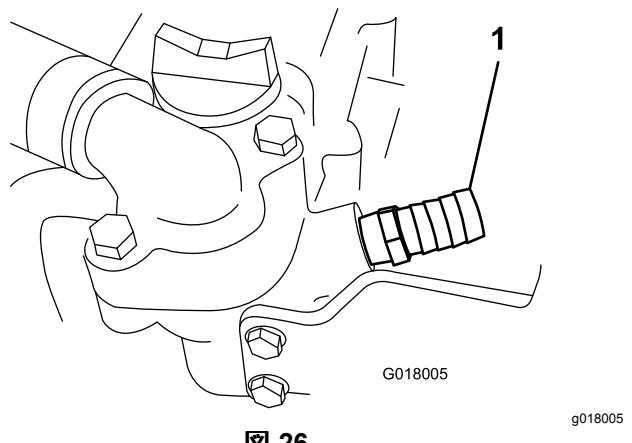
1. ヒーターコントロールケーブル

ホースを取り付ける

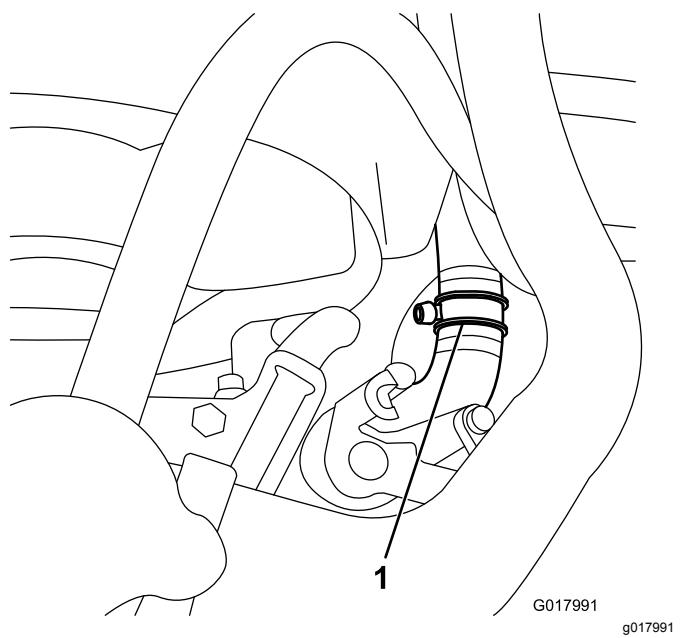
1. 穴あけノコギリ 1" 25.4 mm を使用して、図 25 のように、シートベースに穴を開ける。
プラスチックを 2 層ともくりぬくように穴を開けること。



2. ドリップパンを置く。サーモスタットハウジングの前下にあるプラグを抜き、ストレートフィッティング 5/8" にパイプシーラントを塗って車体に取り付ける図 26。



1. ストレートフィッティング 5/8"
3. 下ラジエターホースがラジエターに入っているところから 54 mm のところでホースを切断する図 27。



1. 下ラジエターホースの T 字フィッティング
4. 切断した部分に字フィッティングを入れ、幅広のホースクランプ 2 個で固定する図 27。
5. ホースクランプを使ってヒーターバルブに長いホースを接続し、このホースをシートベースの穴へ、次に荷台フレームの穴へ通して、ストレートフィッティングにクランプで接続する図 28。ホースの長さが余っている場合は切斷する。

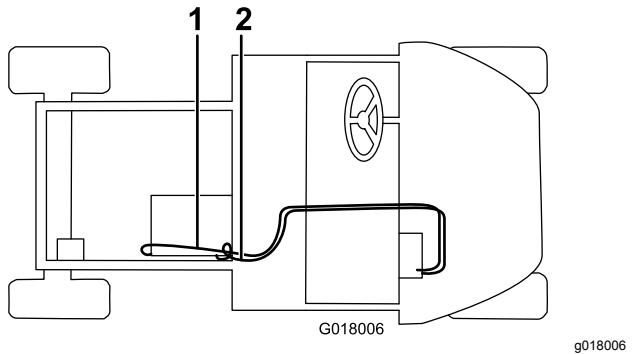


図 28

g018006

1. 短いホース 2. 長いホース

6. ホースクランプを使って、短いホースを白い補給口へ接続し、このホースをグローブボックスのR-クランプに通し、シートベースの穴に通し、下ラジエターホースの字フィッティングにクランプで固定する**図 28**。ホースの長さが余っている場合は切断する。

配線の接続を行う

1. ヒーターのワイヤハーネスから出ているピンクのワイヤを、ヒューズブロックの開いているリード線に接続する。
ヒューズスロットに空きがない場合には、新しいヒューズブロックを取り付ける。接続したリード線に対応するスロットにヒューズを取り付ける。
2. ヒーターのワイヤハーネスから出ている黒いワイヤをアースブロックに接続する。

取り付けの最終手順と点検

1. ホース $\frac{5}{8}$ "の露出部にじやばらチューブのカバーを取りつける。
2. 各ホースおよびワイヤが鋭利な角や可動部などに触れないように縛って固定する。
3. ホースの上からホース用チャネルを被せて、前側のエッジをフロアボードの前側のエッジにそろえる。フロアボードにドリルで穴を開けて、タップねじで固定する**図 29**。

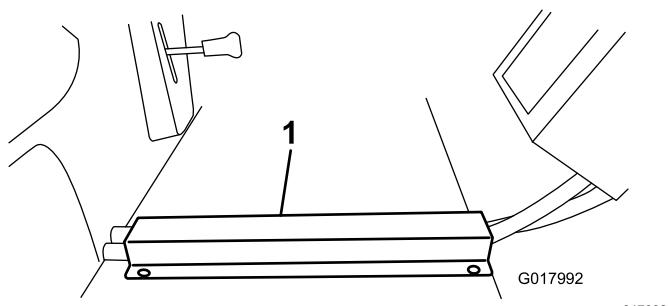


図 29

g017992

1. ホース用チャネル

4. 先ほど外したバッテリーケーブルとバッテリーカバーを元通りに取りつける。
5. ラジエターキャップを外して冷却液を入れるオペレーターズマニュアルを参照。

重要冷却液の補給に際して、加圧回収タンク以外の場所から冷却液を補充する場合には、加圧回収タンクのふたを開けておかないでください。ふたを開けておくと入れすぎになる可能性があります。タンクの上部に空間がのこっていることが重要です。冷却システムのふたは、1つ以上開けないでください。

6. ヒーターセンブリの近くにある白いT字補給口のキャップを外し、冷却液を補給する。キャップを取り付ける。
7. 加圧回収タンクのふたを開けて、ダウンチューブの下の位置まで冷却液を補給する。
8. エンジンを始動し、通常運転温度まで温度を上昇させ、エンジンを停止して温度が外気温まで下がった時点で加圧回収タンクの冷却液の量を再点検し、必要に応じてダウンチューブの下の位置まで冷却液を補給する。

メモ

メモ

組込宣言書

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
07349	315000001 およびそれ以上、316000001 およびそれ以上、400000000 およびそれ以上 以上	ヒーターキット液冷エンジン搭載のワークマンMD/HD 汎用作業車用	MD/HD HEATER KIT-LIQUID COOLED ENGINES	汎用作業車用アクセサリ	2006/42/EC, 2000/14/EC

2006/42/EC別紙VIIパートBの規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子滴通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み

権限を有する代表者



Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

John Heckel
上級エンジニアリングマネージャ
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
September 24, 2018

Tel. +32 16 386 659

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company ("Toro") は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるために、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡ください legal@toro.com。

セキュリティーについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたの情報をあなたの居住国外に移動する場合には、弊社は必ず法律が定める手続きを踏み、あなたの情報が安全に取り扱われ適切な保護がおこなわれるよう、そして正しく取り扱われるよう配慮します。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社があなたの情報を取り扱った方法に懸念をお感じになった場合には、弊社に直接申し立てをしていただくようにお願い申し上げます。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。

TORO®

Toro 製品保証

2年間品質保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワンティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。

*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなくなったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびペアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放することのできるエネルギーの総量 kWh が決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額遞減方式となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての默示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また默示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。